

《平成24年度 薩摩川内市事務事業評価表》

1 事務事業の位置付け(Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	勝目 吉昭
事務事業名	小学校綱引競技大会			担当者	玉利 勝美
所管部課名	教育部 学校教育課			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	幼児教育・学校教育等の充実
				施策 (項)	学校教育の充実
予算科目等	会計	一般会計		教育費	
	項	教育総務費		学校保健費	
	事項	小学校綱引大会費	細事項	小学校綱引大会費	

事業の概要

原則として小学校6年生(複式学級は下学年も可)を対象とし、郷土の伝統行事である綱引競技を通して、ふるさと意識を醸成するとともに、学校間の交流・親睦を深める。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	本市全小学校6年生児童 (複式学級は5年生以下も可)		事業開始年度			平成18年度	
	手段 (市がどのような活動をするか)	本市全小学校へ参加を募り、綱引競技大会の企画・運営にあたる。また、当日審判員として協力していただく薩摩川内市綱引連盟との渉外にあたる。	活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	①	参加小学校数		
					②			
				最終目標値	①	全小学校の参加		
					②			
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	ふるさとの伝統行事である綱引競技を通して、互いに認め合い、協力し合う態度を育てるとともに、ねばり強い体力や気力を培う。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	①	参加児童数		
					②			
				最終目標値	①	児童全員の参加者		
					②			
	コスト・指標の推移	項目	単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)	平成26年度 (見込み)
事業費		国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		1,369	1,357	1,391	1,391	1,391
		合計(A)		1,369	1,357	1,391	1,391	1,391
従事職員数		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
人件費(B)		千円	800	800	800	800	800	
従事嘱託員数		人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費(C)		千円	0	0	0	0	0	
トータルコスト		千円	2,169	2,157	2,191	2,191	2,191	
活動指標の推移	①	参加校数	40	40	37	36	36	
	②							
成果指標の推移	①	参加児童数	1059	1050	1076	1000	1000	
	②							

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

- ①児童の会場までの移動に係るバス借上げ料
- ②入賞チームへのトロフィー購入の補助
- ③審判員等への謝金

3 事業の視点別評価 (Check)

対象・手段の妥当性 妥当である 改善の余地はある 妥当でない

妥当性	(上記選択の理由) 現在実施している日程及び会場の関係、また試合形式等から考えると、現在の運営の在り方は妥当であると考え。 資料2
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき
効率性	(上記選択の理由) 甌島区域も含め、本市の全小学校を対象としていることや、参加児童数が1000名を超える状況があること、また本市綱引連盟の協力を得て実施している状況から、本市が主体となって実施すべきであると考え。
	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない
有効性	(上記選択の理由) 必要最低限の経費で運営しており、これ以上事業費の削減は難しい。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない
有効性	(上記選択の理由) 現在も担当者が一人で行っており、これ以上の削減は無理である。
	成果の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	(上記選択の理由) 平成24年度は、諸事情により西山小学校、鹿島小学校が参加することができなかったが、過去3年間で最多となる1076名の児童が参加し、白熱した大会を実施することができた。本市の伝統的行事である綱引競技を通して、市内小学校児童がともに集い競い合う中で生まれる一体感、さらに教師と児童の信頼関係、また保護者や地域協力者との連携も深めることができ、その教育的効果は非常に大きいと考える。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない
有効性	(上記選択の理由) 平成18年度から始まった本大会ではあるが、それ以前からも旧川内市内小学校を対象とし行われてきている。児童数減少や統廃合が進んでいる状況ではあるが、これまでと同様に合同チームの編成や参加学年も柔軟にできるような配慮をすることによって、今後も成果が期待できると考える。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	①今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	②上記方向の理由 本大会を実施する上での日程、プログラム、参加チームや参加人数、会場等を総合的に判断すると、現状のまま継続していきたいと考える。
	③改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画
内部評価 (二次)	評価者名 教育部長 田畑逸郎
	①内部評価結果 妥当性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	②今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
③上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) 児童数減少に対する合同チームの編成等柔軟な対応の検討	